



個別最適な学び

特別支援教育の視点

- ・自主学習の時間にタブレットでドリル学習
- 同じ時間に別々の学習内容を
- ・児童の実態に合わせたワークシートを作成

「みんなの作品」の活用

- ・どんどん活用して、子どもも大人も慣れていく。
- ・交流を充実させるための手立てが必要。
「自信あり」「自信なし」「聞きたい」
- ・同時進行で他の児童の考えを見ることができる。
- ・1枚だけしか公開できない。
→ワークシートを1枚にまとめる。
- ・ヒントノートを公開し、みんなができるようにする。

協働的な学び

問い返し

- ・「なぜ?」「どうして?」から始めていく。

聴き合いタイム

- ・分からないことを自分から聞きに行く。
- ・自分から聞きに行けるような人間関係づくりを構築していく。

授業デザイン

- ・単元ゴールを決めて構成する。
- ・めあてを「～だろう。」でみんなで考える。
- ・めあてとまとめはみんなで声に出して1回読む。
- ・課題解決に向けた見通しを確認する。
- ・まとめの前に、めあてに戻る。

ICTの使い方

- ・電子黒板：課題の提示
- 大型テレビ：子どもたちの考え
- ・導入時に児童を惹きつけるための提示
→フラッシュカード、隠した資料
- ・思考をつなぐ、広げるための活用
→マッピングなどの思考ツール
→発表ノートに活用

学習規律

- ・タブレットを使うけじめをつける。
- ・机上の整理
- ・発表してよかったと思えるような「反応」
- ・聞いてよかったと思えるような「返し」

